わが社の企業価値

札幌日信電子

社員教育とCSR活動に取り組む
地域に根差した企業を目指す

札幌日信電子は、1972年の冬季オリンピック開催に合わせて開業した札幌市営地下鉄の自動出改札装置および鉄道信号装置のメンテナンスを担当する企業として1970年（昭和45年）に創業した。

当時、鉄道全線での改札業務自動化や信号装置のコンピュータ制御は業界初だったが、無事開業し、以来40年余にわたって市民の足を支え続けている。

また、機器の保守管理を行う一方で設計部門を併設し、メーカーと連携しながら機器の開発・設計にも積極的にかかわっている。

他にも、電気工事とケーブルや空調機器などの資材販売を開始し、地下鉄関連以外の分野にも活躍の場を拡げ、今では売上の4割を占める事業に成長している。

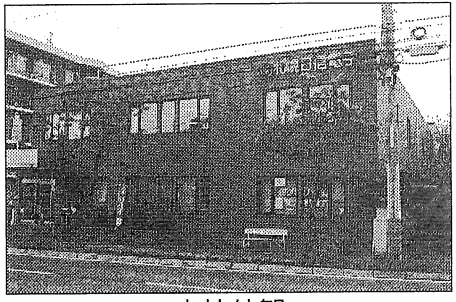
近年では、社内活性化を図るため、資格取得奨励制度を制定し、社員の公的資格取得を推進している。受験費用等を会社負担とすることを明示した結果、資格取得数が着実に増加した。

他にも、経営方針に「地域から信頼される企業」になることを掲げ、社員教育とCSR活動に力を入れている。

例えば、同社の保守員は日常的に地下鉄駅構内で作業しており、地下鉄を利用する市民と接する機会も多いことから、万一の事態に備えて社員全員が普通救命講習を受講している他、障がい者への接遇訓練なども行っている。

また、区役所とアダプト制度の協定を結び、社屋周辺の清掃活動や冬期間の滑り止め砂撒布を行っている。

社屋前に設置したベンチも好評で、通りかかった人がちょっと一休みしていくのも日常の光景になっている。


本社外観

2年前から、これまで培ってきた技術と経験を生かして、地域の人々に貢献できる事業として、住宅リフォーム事業を開始した。

今後ますます進行する高齢化社会に対応した「安心・安全に暮らせる快適な住まい」をつくる手伝いをしていきたいと考えている。

同社はこれからも「総合設備業」として、地域に根差した企業を目指して邁進していく。

◇

▽本社＝札幌市豊平区月寒東4条8丁目6番5号▽代表者＝荒川正一・代表取締役社長▽設立＝1970年▽URL＝http://www.sapporo-nisshin.co.jp/

（おわり）